情報公開文書

2023 年９月３日作成

Ver.4

間質性肺疾患患者における骨格筋の特徴と長期的影響について

1、研究の目的と意義

超高齢化社会の我が国において，虚弱（フレイル）な高齢者が増えるなか加齢に伴う筋力低下（サルコペニア）は健康寿命の維持や医療経済的観点から重要な課題です．近年では骨格筋量は維持されているが筋力が低下しているダイナペニアが注目されており，骨格筋量と筋力のそれぞれに関連する因子は明らかに異なることも指摘されています．間質性肺疾患（ILD）患者におけるダイナペニア，逆に筋肉量が低下したプレサルコペニア，筋力・筋量ともに低下したサルコペニアの有症率を検討することと，呼吸機能や日生命予後との関連性について検討することが目的です．これらの点が明らかになることで，ILD 患者におけるダイナペニア・プレサルコペニア・サルコペニアの異なる特徴が判明する手がかりとなり，今後，本疾患群の筋機能に関する研究を発展させる上での根拠として貢献ができるものと考えられます．

2、対象となる患者さん

2020 年１月１日～2023 年７月 31 日の間に ILD の診断（基礎疾患は問わず）によって長崎大学病院呼吸器内科にて外来および入院治療中で過去４週間以上，急性増悪を認めなかった病状（全身状態および呼吸状態）が安定している患者さんで，リハビリを始める前の身体機能評価を行った方を対象とします．

3、研究の方法

慢性安定期にある ILD 患者を対象に，リハビリ開始前の身体機能評価として行われた検査や評価の結果を電子カルテから収集してダイナペニア・プレサルコペニア，サルコペニアの特徴や ILD 経過や呼吸機能との関連性を調べます．

4、研究に用いる情報

●リハビリ開始前の身体機能評価日の情報

・基礎項目：年齢，性別，身長，体重，BMI，呼吸機能，動脈血液ガス値，臨床検査所見，診断からの期間，経口ステロイド剤服用の有無と投与量，長期酸素療法の有無

・呼吸状態：修正 MRC 息切れスケール

・ILD 重症度：ILD-GAP インデックス

・運動耐容能：６分間歩行テスト（6MWD）による歩行距離，最低 SpO2 値，心拍数

・呼吸・四肢筋力：口腔内圧計（micro RPM, Micro Medical 社製），握力，大腿四頭筋筋力（QF，等尺性筋力測定装置 μTas MF-01，アニマ社）

・ADL 評価：KATS の ADL スコア

・HRQL 評価：K-BILD 質問票

・ダイナペニア・サルコペニア評価：体成分分析装置（Inbody 270,（株）インボディージャ

パン），SARC-F（自己記入式のアンケート調査），簡易身体機能バッテリー：SPPB（バランステスト，4m 歩行，起立テスト），胸部 CT 画像所見（小・大胸筋および脊柱起立筋の筋断面積）
●機能評価日から１年後の ILD 経過

本研究は電子カルテより上記の情報の提供を受けて実施する研究です。
本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間
研究機関長の許可日～2024 年 12 月 31 日
この研究は研究機関長の許可日より「4、研究に用いる情報」を利用する予定です。

6、外部への情報の提供
該当なし

7、研究実施体制
この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。
≪研究責任者≫
長崎大学病院　リハビリテーション部　花田匡利

8.お問い合わせ先
長崎大学病院　リハビリテーション部　花田匡利
〒852－8501　長崎市坂本１丁目７番１号
電話：095（819）７２５８　　FAX　095（819）７２５９

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）
苦情相談窓口：医療相談室　095（819）7200
受付時間　　：月～金　　８：30～17：00（祝・祭日を除く）